

中部大学で身につく汎用力の概要

中部大学で身につく汎用力		学力の三要素 (文部科学省)	内 容
1	豊かな教養	知識・技能	一つの分野における教養知識だけではなく、幅広い知識・情報を持つことができる。 【教養知識/スキル】
2	専門的知識・技能		専門的な知識・技術を備え、各分野で必要な情報スキルを扱うことができる。 【専門知識/スキル】
3	思考力	思考力・判断力・表現力	数多くの情報や条件を精査して他者批判も考慮し、解決への可能性や筋道を立て、最も適した対処法を選ぶことができる。 【課題設定力/企画・計画力/クリティカル思考力/プレゼンカ】
4	自立心	主体性・多様性・協働性	目標や信念を持って自分で考え行動でき、客観的にものごとを判断できる。 【課題設定力/企画・計画力/自己理解力】
5	学び続ける能力		新たな課題の発見とその対応や、自己開拓に向けて自律的に学び続けることができる。 【調査・情報収集力/企画・計画力/自己理解力】
6	国際的な視野		世界の様々な考え方を理解し、固定観念に囚われない幅広く柔軟な考え方ができる。 【コミュニケーションカ/ディスカッションカ/傾聴受信力/変化対応力/受容力】
7	多様性		個人や社会が持つ属性的条件と、多種多様な思想的条件を理解し、様々な変化にも柔軟に対応できる。 【コミュニケーションカ/ディスカッションカ/傾聴受信力/ダイバーシティ】
8	協調性・協働性 (公益心)		すべての人が平和と豊かさを享受できるよう、行動するための自分自身の心の豊かさを持つことができる。(SDGsと結びついた意識) 【コミュニケーションカ/プレゼンカ/企画・計画力/傾聴・受信力/自己理解力/チームワークカ】
9	実行力		情報を活用して目標に対する計画を設定し、実行する(行動する)ことができる。 【調査・情報収集力/課題設定力/企画計画力/ICT活用カ/プレゼンカ/リーダーシップ】

内容欄にある【 】内の記載事項は、2023年度以前入学生を対象とする「身につく10の基礎力」(※)を示す。また、アンダーラインは2024年度以降入学生を対象とする「中部大学で身につく汎用力」策定に伴い追加したものを示す。

なお、一部の新設学部等については、文部科学省へ届け出た当初計画により運営中のため、入学年度に関わらず、「身につく10の基礎力」(※)を適用中。

(※)「身につく10の基礎力」については、次頁参照。

身につく10の基礎力の概要

①	コミュニケーション力	相手の話を聴き、要点をつかんで、上手に質問したり、自分の意見を表現したりすることができる。
②	プレゼンテーション力	色々な媒体、画像やグラフなど、を用いて意見や提案の表現・発表が行える。
③	ディスカッション力	テーマを理解して、相手の論点を理解し、自分の意見を適切に説明できる。また、論議を円滑に進めることができる。
④	調査・情報収集力	統計学の基本を習得し、必要な情報を収集・選択、データ分析し、報告書を作ることができる。
⑤	課題設定力	習得した知識や技能をもとに、物事をじっくり観察し、課題を設定することができる。
⑥	企画・計画力	課題解決についての見通しをもって方法を提案でき、企画・計画を立てることができる。
⑦	傾聴・受信力	他者の考えを正確に受け取り、自身の視野を広げたり、思考を深めたりすることができる。
⑧	I C T 活用力	ワード、エクセル、パワーポイントを使いこなせる。また、ハード・ソフトのセットアップやHPの作成ができる。
⑨	クリティカル思考力	他人の意見を鵜呑みにせず、物事をじっくり観察・思考して客観的に結論を出すことができる。
⑩	自己理解力	自己の長所・短所、得手・不得手を知っており、不満や怒り、失敗や落ち込みの理由を考えることができる。

※2023年度以前の入学生については、上記のとおり、各科目に「身につく10の基礎力」を設定しています。